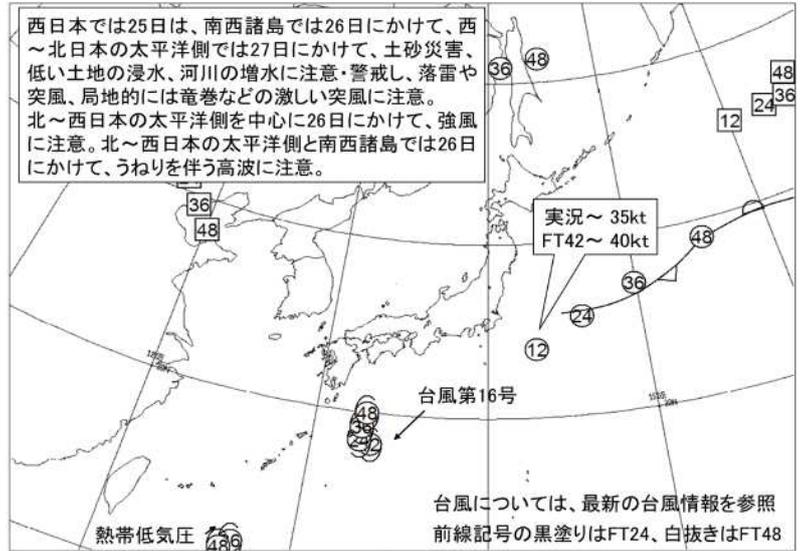


### 1. 実況上の着目点

- ① 東日本を東進する 500hPa 5820m 付近のトラフに対応して、伊豆諸島の南海上を低気圧が北東進。低気圧の近傍では積乱雲が発達し雷を検知。
- ② 25日12時に日本の南で台風第16号が発生、ゆっくり西北西進。台風周辺や千島の東にある高気圧の縁辺を回る下層暖湿気によって、対馬海峡や南西諸島では大気の状態が非常に不安定となっており、雷を検知、海上を中心に非常に激しい雨を解析。
- ③ ②の高気圧と②の台風との間で気圧の傾きが大きくなり、北～西日本の太平洋側を中心に強い風が吹き、波が高く、しけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、26日にかけて日本の東を北東へ進む。低気圧周辺の下層暖湿気の影響で、伊豆諸島や東～北日本の太平洋側では、大気の状態が不安定になり、雷を伴って激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。
- ② 1項②の台風は、26日朝にかけてゆっくり西北西進し、その後向きを変えて北進し、27日は衰弱しながら日本の南を北東へ進む見込み。また、26日夜までに沖縄の南に新たに熱帯低気圧が発生し、ゆっくり西進する。台風及び熱帯低気圧周辺や1項②の高気圧縁辺を回る下層暖湿気の影響で、西日本では25日は、南西諸島では26日にかけて、西日本～北日本太平洋側では27日、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴って激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 中国東北区付近にある 500hPa -15℃の寒気を伴った 5700m 付近のトラフが26日夜に沿海州付近に進む。1項②の高気圧は、25日は千島の東に、26日はアリューシャンの南に移動する。上空の寒気と高気圧縁辺を回る下層暖湿気により大気の状態が不安定となり、雷雨となる所がある。北日本では26日は落雷や突風、急な強い雨に注意。また、高気圧と2項①の低気圧や2項②の台風との間で気圧の傾きが大きくなり、太平洋側を中心に、東よりの強い風が吹いて、うねりを伴って波が高くなり、しける所がある。26日にかけて強風やうねりを伴う高波に注意。

**3. 数値予報資料解釈上の留意点** 総観場は GSM を基本、量予想や降水分布は MSM や LFM も参考。2項②の台風や熱帯低気圧の発達については、予想に不確実性がある事に留意。

**4. 防災関連事項【量的予報等】** ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 波浪(明日まで)：関東・伊豆諸島・九州南部・奄美4、北海道・東北・東海・近畿・四国3m。③ 高潮(明日まで)：東日本では注意報基準を超過する所がある。

**5. 全般気象情報発表の有無** 発表の予定はない。